

本年度産業開發計畫
資材制限で變更

「東京通商」本年度物産計畫を濟南開發、就中國工業方面の見、これに近く最後の決定を見、これに準ずる滿洲國開發に發する年度計畫遂行に必要な諸材料の對滿洲國供給と同時に滿洲國の運びに必要とした當初滿洲國が日本に期したる計畫開發、就中國工業方面の器械類は日本に對する生産力擴張の爲急遽に進行に當面して可成りの程度でその供與を制限されることは必至と推測されるに至つた、而して今後滿洲國はの計畫遂行に必要な諸材料の不足を補充するため現地開墾乃至第三國の供給地確保を努めることにならうが、これ等諸材料が、部分部分の供給に依存することゝなる大なる不足分の日本以外の面より

の補給は困難視されるゐる従つて本年度においては滿洲國は計畫遂行に必要な諸材料類の不足を補給する爲に、

未完成的のものを生ずる惧れあ

ドイツ陸空軍精銳
續々國境に移動

(「ルンビニ來日談」) ベー
外相の演説以来、ドイツのポ
ラランド態度劇的一刻変化
してゐる。即ち華沙より駐
土部の精銳部隊を以て懸絶
は低ボローザン地方に據り
て監視し、又攻撃隊現役精
鋭團も獨逸方面より及び極
東諸地方面へ移動し、幾備兵
に對する待機命令、豫備兵
派にまで擴大されたと傳へら
れる。またドイツの各新聞
の論調も極めて偏激となりテ
エゴ事件當時を思へるとい
ふ事、當時を通じて以上の精
神的軍事的用意は、果して
トラウ・總統の直接策によつ
たか、それと一旦親念
の場合の準備であらう明瞭
でない點である。しかして一
方ボローザンに對する外交工
作も著々進み、包圍網は全ク
對峙せる保護ルンバニアとい
つて可なり。ルンバニアとユーロ
ーの同盟、ルンバニアとユーロ
ー關係樹立により、バルチック
の南方獨立、バルチック諸國
との目前に迫つた不可侵條約
並びに北歐諸國との中立關係
によるボローザンの東方斷離
をみたが、ヒトラー總統はベ
ルシチアの山莊に機
つて刻々入り来る報に基き
策練つて居り、結局ゲーリ
ツ空母、ブラウヒッヒ國軍
總司令官がイタリアより露環
艦等を持つて此等と協議、
最終的決定を下すものと信ぜ
られてゐる。

獨伊外相第一次會談



外相の一行は六午午前九時五十分、またリブベントロツプ獨逸に一行を午前十一時失タモラノ驛に到着、リブベントロツプ獨逸外相は驛前に出迎への邸ヲリノ宮に招と午饗を共に

昨午十一月以來久闊を叙したのち共にイデアノ軍を聞兵更にリブベントロツプ獨逸外相等一行は市長官邸に於て

午後二時、會議の結果は正式ユニエに於てリブベントロツプ獨逸外相(七)とチナノ伊

後、回をもつて打聽することに依り、會議の結果は正式ユニエに於てリブベントロツプ獨逸外相(七)とチナノ伊

衆となつてゐる模様で、緊張する佛伊關係を極めて、クリリ、ゲリリガ會議は極めて注目されてゐる

エスニア

ム首相トリノへ

獨空相と會談せん

【ローマ六日發獨通】ムソッリニ首相は来る四日北イタリアのトリノに赴き、十四、五兩日にわたつて佛伊國境をモンテ地方一帯を觀察する旨六日政府より発表された。右はフランス國境方面に動員したアルプス軍部隊中の一のゲーリング獨空相もその列に加入するものと傳へられてゐる。

じめ各部隊の進察、激勵および國境準備状況視察のためであるが、一方フランス側では、ゲーリング獨空相もその列に加はり、六日には六日從軍至トリノの間にも不可侵協定締結一引續せしめられたい。

【ターリン（エスニア）六日發獨通】ラトヴィア政府との不可侵協定締結一引續せしめられたい。

【ターリン（エスニア）六日發獨通】ラトヴィア政府との不可侵協定締結一引續せしめられたい。

重慶全市は武装化

防空陣地撃碎は當然

撃に對しては敵の防禦砲火は殆んど市内の全面に亘つて熾烈を極め、殊に揚子江北岸にわが爆撃機も自衛上この地區に相當數量の巨彈をたゞきつけ、つひに沈黙せしめるに至る。

鐵壁の防空も全く晝銚

民衆の不满爆發

(香港七日發稿) わが舊黨の連任の爲に、敵都重慶は全く死の都となつたが、陳實なる情報には驚かぬが、重慶政府は五月になり豫備に、重慶府を鎮守江面に中心としたる内地各縣と重慶府を中心とする一帯の地方をこの機に内外の對立感情を緩和せしめんとする大計にして宣傳してゐるやうなわけ方には、外國公使館等の確信はないであらう。然れども、供ならぬ第二次爆發したる程であらう。

國權益に隠れて陳地の獨裁を構へてゐるわが軍閥は、陳地の獨裁官責任を負ふべきであつたところから、關切せざる所あるとしてゐる。

わが空爆から

身をもつて免る
惡運の強い蔣介石

第一次爆撃當日蔣夫妻は、
わたりつて視察し、午後八時卅
分自動車にて居宅に引返さん
とて毎月半を醸金して防

英佛租界

委を現はす寸前まで居て、
慶行營官舎にあつて狂
とたれ。敵の意表をつい
て取行されたわが海軍大空隊
に敵金した

人を庇護することはわが軍
に對する間接的敵對行為で
ることを第二回分

適切手段講ぜん

天津軍決意を披瀝

富と「北」組界黨の間の
庇護に、義勇隊を蔽つての
共謀手段として、國民
黨より義勇隊を出し、彼
れらに好意を有せざるは
日清に好意を有せざるは
國民黨義勇隊に通じる信
がものゝ知ることもつた
ない。

斯の如き手放の結果とし
て現れるは、影響につい
ては英佛租界當局員に任
ぜざるでも、そのうちにわ
がものゝ知ることもつた
ない。

六日（陽曆通）わが軍古
くおける英佛兩租界は
アロフ分子の温床とな

、社會惡の大半は租界床として發生してゐる。める、五竹林、程錫庚、發犯人、日本兵の雷殺

寧秩序保持に關する一片の誠意があるならば假令わが方に對する積極的協力に吝かであるとしても、妙くと

【東京國通】在
振興中央會は

央會副會

各所放火、破壊證據を
殺害した。祖父母と兄
の組屋に端を發し、又
津浦鐵道沿線工作中心
の流布機關として、美佛
當局は現に中立を標榜

も、素直な會の言辭を弄して
不逞之徒を掩護し、若くは
違禁品を供給すること出で、顔
を納めてゐる臨時政府要人へ
發見及び日本軍人暗殺犯
氏を推すに決定した。

事實を問明し、新に調査長
を設け正石三火官、伍原重雄
小倉正恒三火官、佐藤三火
官の前議長局長に代り、理事
三郎氏を推すに決定した。

雨の馬場に
十銭、同レ

第一次競馬最終日
 熱戦激走を狂せ穴競馬に沸騰
 のツラを喰らして春季第一

立寄馬春季第一 次レ
 春を飾る第八目の優

抽一金の名馬、各一ノリス
 抽古銅の雄馬に必死、勝然然進
 込より七十二圓六分の大穴
 あり、第十二レースに抽古銅
 勝には新京豆二一三圓三十錢
 第十三レースに第一松原五十
 七圓三錢

なりレースは番狂せ多
 の日曜競馬も雨天模様
 の出足を挫いて優勝
 △△△△
 当日は雨馬場の爲穴酈多く第
 五レースに哈克洋四十九圓の
 △
 当日の優勝レ
 ある覇権は右の

に寂寞の感を呈示したが、
 單座に鑑み第六レウス袖占
 一と、袖占の障りとなつた。
 公武 馬主 武富馬之助
 一、袖抽 馬主 久保 正雄
 青 馬主 照 正雄
 馬主 照 正雄

防空施設の餘りにも無
つたのに失望落膽して
重慶ではわづか六日前
でゐるのはこの爆撃に國志を
失つた大衆の間に反戦機運が
濃化擡頭し國共合作で漸く維
一冊五十錢

自ら奮闘して、自費で「抗日救國會」を組織し、十萬人と謳ふ松明行つて抗日の勢をあげた。それだけに今あるが、新政府の宣稱に異議を陳らして最後

一、外島優勝
馬主 連勝駒手
甲田 啓均
二、抽占優勝
馬主 黑田 啓
三、新豆馬主 黒田 啓
四、騎手馬主 黒田 啓
五、騎手馬主 黒田 啓
六、騎手馬主 黒田 啓
七、騎手馬主 黒田 啓
八、騎手馬主 黒田 啓
九、騎手馬主 黒田 啓
十、騎手馬主 黒田 啓

連続徹底的爆撃、猛撃
ながら日本軍の猛威に
すところを知らぬ状態
對する信頼は全く地に墜ち逐
日反戦機運は濃化してゐる

▲天氣、雨
▲入場人員
▲馬券賣上高

この大衆の落膽絶望

五世
▲ガウ翼上高 一八、〇三五

[illegible]

東京・本郷・神楽館
危険 先負 乙月
日九十月三週五

一白の人 大第に願調の日
たれと金銭談面白からず
東と坤と良が吉
二層の人 何事とも面白く順
よく運び行く日常業尤も吉
三初の人 内を講へて外目
乾の王冠に入る 失物注意
四職の人 満分の望みあり起
さす常業を輪の進退あり
乾と長と王冠を以て互利
五黄の人 小意を以て互利
西と巽と人 横道走りて失
敗し易き日の手控が安全
七赤の人 機運ならず進
退と坤と乾が吉
八白の人 榮達する日氣心
の緩まぬ様一致して勵べし
九紫の人 事業の根柢に勤
長と西と巽が吉

各和特
洋種製
國生豆
酒子葉干入福
草煙洋大
中央通十二
ヤマト屋
電話三五九八七

うなぎ
天ぷら
御酒は

月桂冠

を始めました
食道樂

かほる

大經路一二六草津温泉前
電話②一二六二番

電氣時計店

目覺時計
¥20.00より

期間 自4月25日
至5月20日

電業店の

民事刑事
及法律顧問

一般法律事務之專任

律師 別役増吉
辯護士 朝日通二五番地
電話④二八八五

即納品案内

型橫
定置式空氣壓縮機

日立製
北條製
百馬力以下三十馬力迄

參拾台

新品京城在庫

右御入用の方は至急御照會被下度候

京城市明治町一丁目一〇

株式 關東機械製作所

電話本局二四二・四三二・四五六八

卷之三

